

## 第1学年 国語科学習指導案

日 時：平成28年6月28日（火）第5校時  
場 所：四万十市立具同小学校 1年3組教室  
児童数：1年3組 22名  
授業者：四万十市立具同小学校 岡 佐保

1. 単元名 どうぶつ ひみつおしらせカードをかこう  
教材名 「どうやってみをまもるのかな」（東京書籍 1年上）

### 2. 単元について

本単元で扱う内容は、学習指導要領では以下のように位置づけられている。

第1学年及び2学年の「C読むこと」

- (1) イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。  
エ 文章の大事な言葉や文を書き抜くこと。

第1学年及び2学年の「B書くこと」

- (1) イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

#### (1) 単元観

それぞれの動物は、生きのびるためにさまざまに知恵をしぼり、寒さや暑さ、病気や食べ物として命を狙う敵などから身を守っている。本教材は、同名の絵本『どうやってみをまもるのかな』（藪内正幸 1987年 福音館書店）を参考に、教科書用に書き下ろされたものである。ページをめくると前のページの間いかけに対する答えが挿絵とともに現れる。ふだんの姿と、敵に遭遇したとたんにとんとんと身を守る行動をとる姿、その変化が二枚の挿絵によって見事に描かれている。ページをめくるとワクワク感やおもしろさがあり、また、身の守り方という視点で書かれているため、文章を読むことによって新たな事実を知る喜びも味わうことができる。説明文を読むことのスタートである1年生児童にとって、興味を持ち楽しく読み進めることができる教材といえる。

文章は、第1段落に結論が述べられている頭括型の説明文で、四つの意味段落で構成されている。話題提示、事例1「ヤマアラシ」、事例2「アルマジロ」、事例3「スカンク」の順序で述べられ、ページの区切りが意味段落の変わり目となっており、説明文として分かりやすい構成になっている。また、体の特徴と身の守り方が、「どのようにしてみをまもるのでしょうか。」という問いかけの文に挟まれて、同じ文脈で書かれている。

本単元では、事柄の順序に気をつけて内容を正しく読み、学習のまとめとして読み取ったことを「どうぶつ ひみつおしらせカード」に書く言語活動を設定している。この活動を通して、問いと答えの関係を意識して教材文の理解を深めていきたいと考える。第三次では、それまでの学習を活用し、ほかの動物の身の守り方を想像したり、映像を見て確かめたりする活動を通して、他の動物についても、ひみつおしらせカードを書かせたい。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、ひらがなの50音すべての学習を終え、音読をしたり、思ったことや考えたことを話したりしながら、ある程度まとまった文章を読んだりすることができるようになってきている。入学してから教師の読み聞かせを聞いたり自分が読みたい本を選び読書をしたりする中で、本に親しむこともできている。しかし、ひらがなの習得や読書への関心には個人差があり、まだ、ことばの一音一音の音を発することはできても、意味のまとまりとして読むことができない児童もいる。そこで、リズムある楽しい詩を音読したり、言葉集めや言葉遊びをしたりすることを通して、言葉への理解を深め、抵抗なく読める力を目指して取り組んでいる。書くことについては、助詞④⑤⑥を使って文を書く学習を終え、自分がしたことや思ったことを文章にすることに挑戦している。文を書くことにも少しずつ慣れてきているところである。

### (3) 指導観

「どうやってみをまもるのかな」は、児童が入学後初めて出会う説明文教材である。この教材では、未知の事実を知るといふ説明文を読むことの楽しさを感じさせることが重要となる。第一次では、教材文にある防衛している動物の挿絵を拡大したものを提示し、それを見て想像力を働かせるようにする。そして、なぜそのようなことをしているのか、自分たちはどうするのか等、想像したことを自由に話し合うことで教材を読むための構えをつくる。そして、また、教師の自作モデルを提示し、学習の最後には、他の動物の「どうぶつ ひみつおしらせカード」を書くことを知らせ、児童の意欲を高めたい。

第二次では、教材文を拡大したものを提示し、まず、挿絵と繋いで出てくる動物の種類とそれぞれの動物の説明範囲を読み取る。そして、それぞれの動物の身の守り方について、問いかけの文や答えの文を確かめながら書かれている事柄を正しく読み取る学習を展開していく。ここでは、「問い」と「答え」が繰り返し出てきていることから、「問い」の文に赤色のサイドライン、「答え」の文に青色のサイドラインを引かせ、問いと答えの構成をつかませていく。また、読み取ったことをワークシートに書く活動を取り入れ、第三次での他の動物の身の守り方を自分で書く活動に繋げていきたい。

第三次では、本単元の発展的な学習として、他の動物の身の守り方についてICTを活用し、写真や映像等を示し、第二次で学習した文型に当てはめて「ひみつおしらせカード」を書き、説明し合う。ここでは、身の守り方を表すのに大事な言葉をみつけさせ、言葉を押さえながら学習を進め、児童がカードを書くときの手掛かりにしていきたい。この第三次の学習は、それまでの学習の活用となるとともに、第一段落の「いろいろなやりかた」を具現化する活動となると考えている。

### 3. 研究主題に関わって

本校の研究主題は、「自ら課題をつかみ、思考し 表現し合う授業づくり～習得・活用・探究のつながり 指導過程・指導方法と発問を大切に～」である。本単元では、問いかけに対する説明・答えという説明文の基本的な型にそった読み取りを、挿絵も手掛かりにし、児童が楽しみながら読み取っていきけるような指導過程を工夫して展開していきたいと考える。読み取りの過程では、動物の体の特徴の説明や問いかけの文、身の守り方の答えの文に着目させる発問を工夫し、色分けしてサイドラインを引かせたり、それぞれの部分を役割読みさせたりして、文章の構成にも気づかせていきたい。同じ文章構成で続く説明文の特徴を生かし、ヤマアラシで習得した文章の読み方を、次のアルマジロやスカンクの時に活用して読めるように、指導過程や指導方法を工夫していく。そして、本文の読みの中で生まれるであろう「他の動物はどうやって身を守るのかな。」という疑問や課題意識を純粹に引き出し、「他の動物の身の守り方を知りたい、調べてみたい」という探究的な学びの意欲と並行読書を、終末の他の動物のひみつおしらせカードを書く学習に繋げていく。この単元での学習が、その後の自主的な学びや幅広い読書活動に結びつき、探究的な学びの素地となるようにしたいと考える。

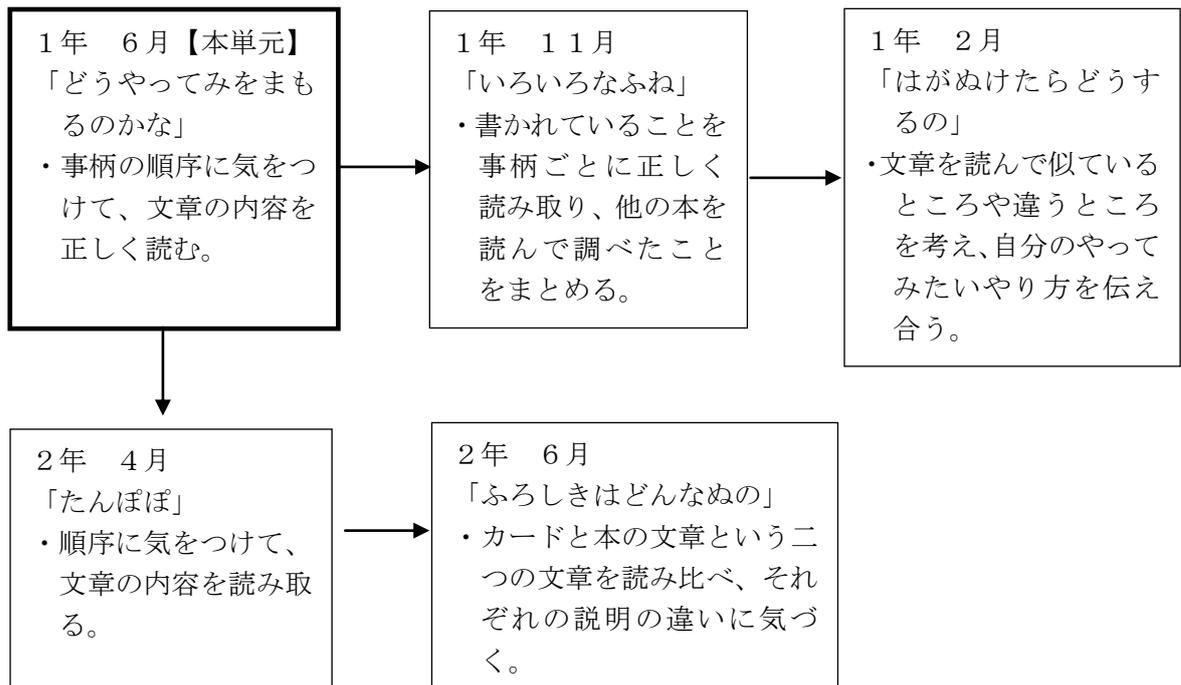
### 4. 単元の目標

- 事柄の順序に気をつけて、文章の内容を正しく読み取ることができる。

### 5. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・動物の身の守り方に興味を持って、書かれている事柄を読もうとしている。
読む能力	・事柄の順序に気をつけながら、内容を正しく読み取っている。 C(1)イ ・体のつくりや身の守り方を表す、大事な言葉を抜き出している。 C(1)エ
書く能力	・自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。B(1)イ
言語についての 知識・理解・技能	・主語と述語の関係に気をつけて読んでいる。伝国(1)イ(カ)

## 6. 発展と関連



## 7. 単元の計画(全8時間)



一次 「どうぶつ ひみつおしらせカード」を書くことを知り、学習の流れをつかもう。(2時間)

- ① 教科書の動物挿絵を見て、想像したことを自由に話し合う。
  - ・教師のモデルをもとにゴールイメージをつかみ、学習の流れを知る。
  - ・はじめて知ったことや不思議に思ったことを書く。
- ② 文章を四つのまとまりに分けてとらえる。
  - ・話題提示と三種の動物の説明部分に分ける。

いろいろな動物がいるんだな。動物は、おもしろいな。

4つの部屋がわかったよ。

・挿絵を見たり文章を読んだりして、興味を持って教材文を読もうとしている。

【関心・意欲・態度】

・音読を通して、文の中の「誰がどうした」の関係をとらえている。

【伝国(1)イ(カ)】

・全体を四つのまとまりに分けて、動物が出てくる順をとらえている。

【C(1)イ】

二次 動物の身の守り方を正しく読み取ろう。(3時間)

- ③ ヤマアラシの身の守り方を正しく読み取る。
- ・体の部分の説明→問いかけの文→身の守り方の答えという順序に気をつけて読み取る。
  - ・挿絵に注目しながら、読み取ったことを教材文の言葉を使っておしらせカードに書く。
- ④ アルマジロの身の守り方を正しく読み取る。
- ・前時の学習を想起し、体の特徴や身の守り方をおしらせカードに書く。
- ⑤ スカンクの身の守り方を正しく読み取る。
- ・前時の学習を想起し、体の特徴や身の守り方をおしらせカードに書く。

お知らせカードには、特徴と身の守り方を書けばいいんだな。

いろんな身の守り方があるな。動物の身の守り方がわかったよ。

- ・大事な言葉や事柄の順序に気をつけながら、動物の体の特徴や身の守り方を読み取っている。

【C(1)イ】

- ・体のつくりや身の守り方を表す、大事な言葉を抜き出している。

【C(1)エ】

並行読書

三次 どうぶつ ひみつおしらせカードを書いてみよう。(3時間) 本時7/8

- ⑥ 読んでわかったことやもっと知りたくなったことなどを話す。
- ⑦ ⑧ひみつおしらせカードに他の動物の身の守り方を書き、発表する。

他の動物は、どうやって身を守るのかな。知りたいな。

お知らせカードを書いて、友だちやお家の人に知らせたいな。

- ・読み取った事柄を基に自分なりの感想を持ち、それを伝えようとしている。

【関心・意欲・態度】

- ・説明文から読み取った述べ方をふまえて、他の動物について書いている。

【B(1)イ】

【つきたい力】

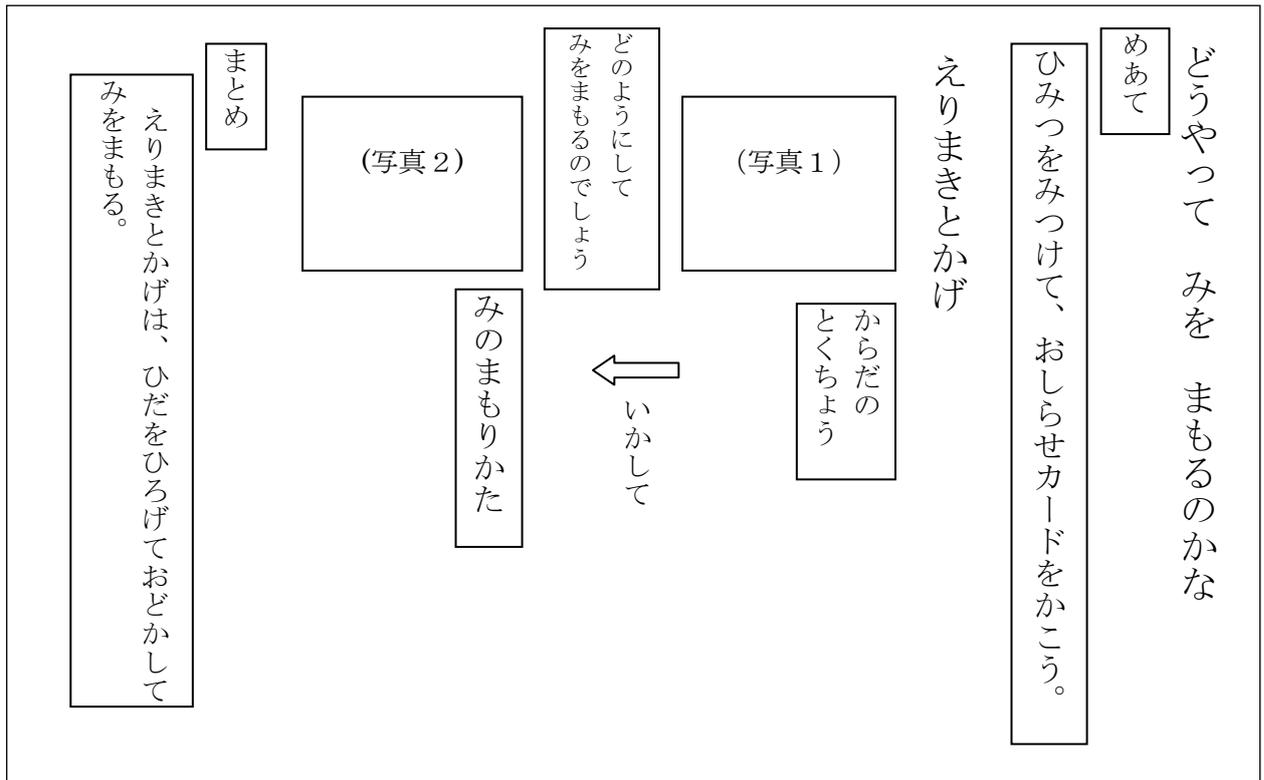
- ・事柄の順序に気をつけて、内容を正しく読み取る力。

## 8. 本時の学習(7/8)

- (1) 目標 ○他の動物の身の守り方を、説明文本文と同じ述べ方でおしらせカードに書くことができる。
- (2) 準備物 教材文の拡大コピー 児童用ワークシート 写真 パソコン 電子黒板  
エリマキトカゲ画像（動画）〔出典 I P A 「教育動画素材集サイト」〕
- (3) 展開

	学習活動【主な発問 (★)】	指導上の留意点 (○) と評価
つかむ 5分	1. 前時までを振り返る。 2. 本時の課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ほかのどうぶつのひみつをみつけて、おしらせカードをかこう。</div>	○動物それぞれに体の特徴と身の守り方が書かれていたことを振り返る。
深め・ 広げる 35分	3. 本文を音読する。 4. エリマキトカゲの体の特徴を確認する。 ★エリマキトカゲの体にはどんな特徴がありますか。 5. エリマキトカゲの身の守り方を予想する。 ★エリマキトカゲはどうやって身を守りますか。 6. エリマキトカゲの映像を見て、身の守り方を見つける。 ★エリマキトカゲはどんな身の守り方をしていましたか。 7. エリマキトカゲのひみつおしらせカードを書く。 8. エリマキトカゲのひみつおしらせカードを発表する。	○「問い」と「答え」を意識させるために、役割読みをさせたい。 ○写真を提示し、体の特徴について見つけたことや気付いたことを発表させ、全体で確認する。 ○実際の映像を見せることで、身の守り方についてのイメージと興味を持たせ、ひみつおしらせカードを書く意欲を高める。 ○おしらせカードを書くときの手掛かりになるように、身の守り方を表すのに合う言葉を発表させ、整理する。 書 説明文から読み取った述べ方をふまえて、他の動物について書いている。 B(1)イ (ワークシート、発表)
まとめ 5分	9. 学習のまとめとふりかえりをする。	○次時の学習を確認する。

(1) 板書計画



おしらせカード

